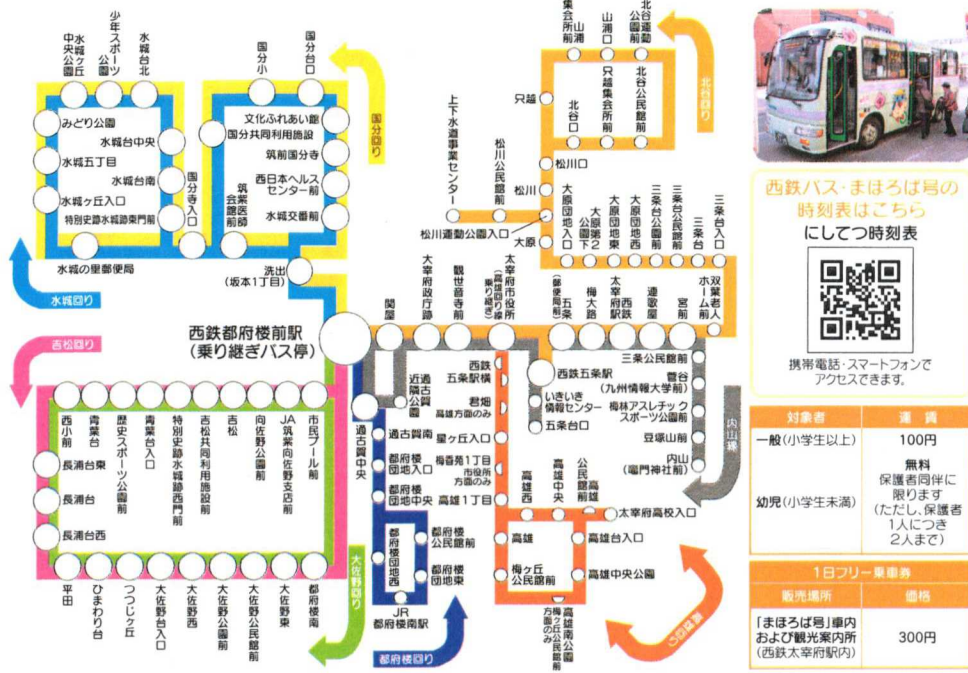


まほろば号 路線図



広域アクセス図



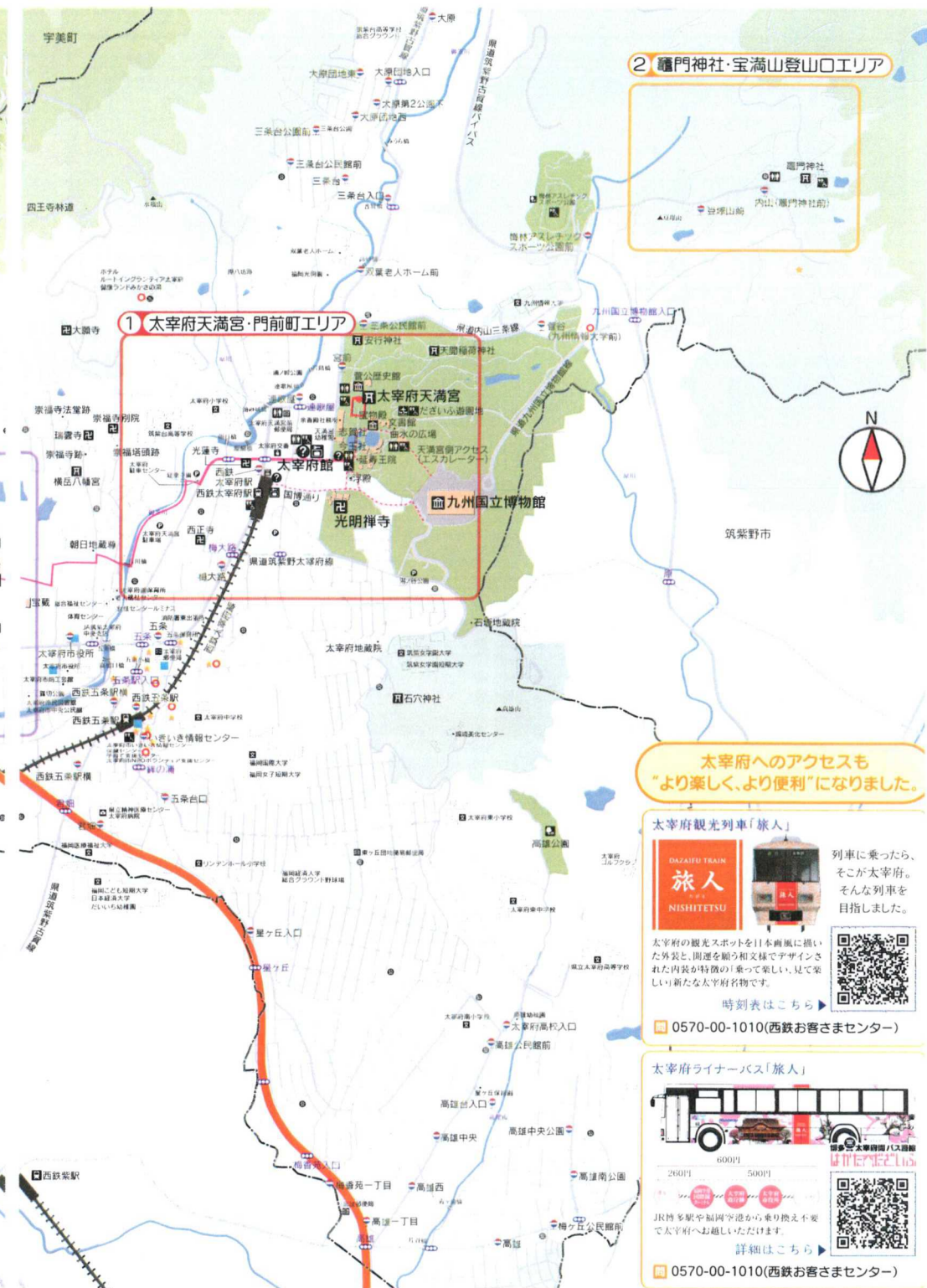
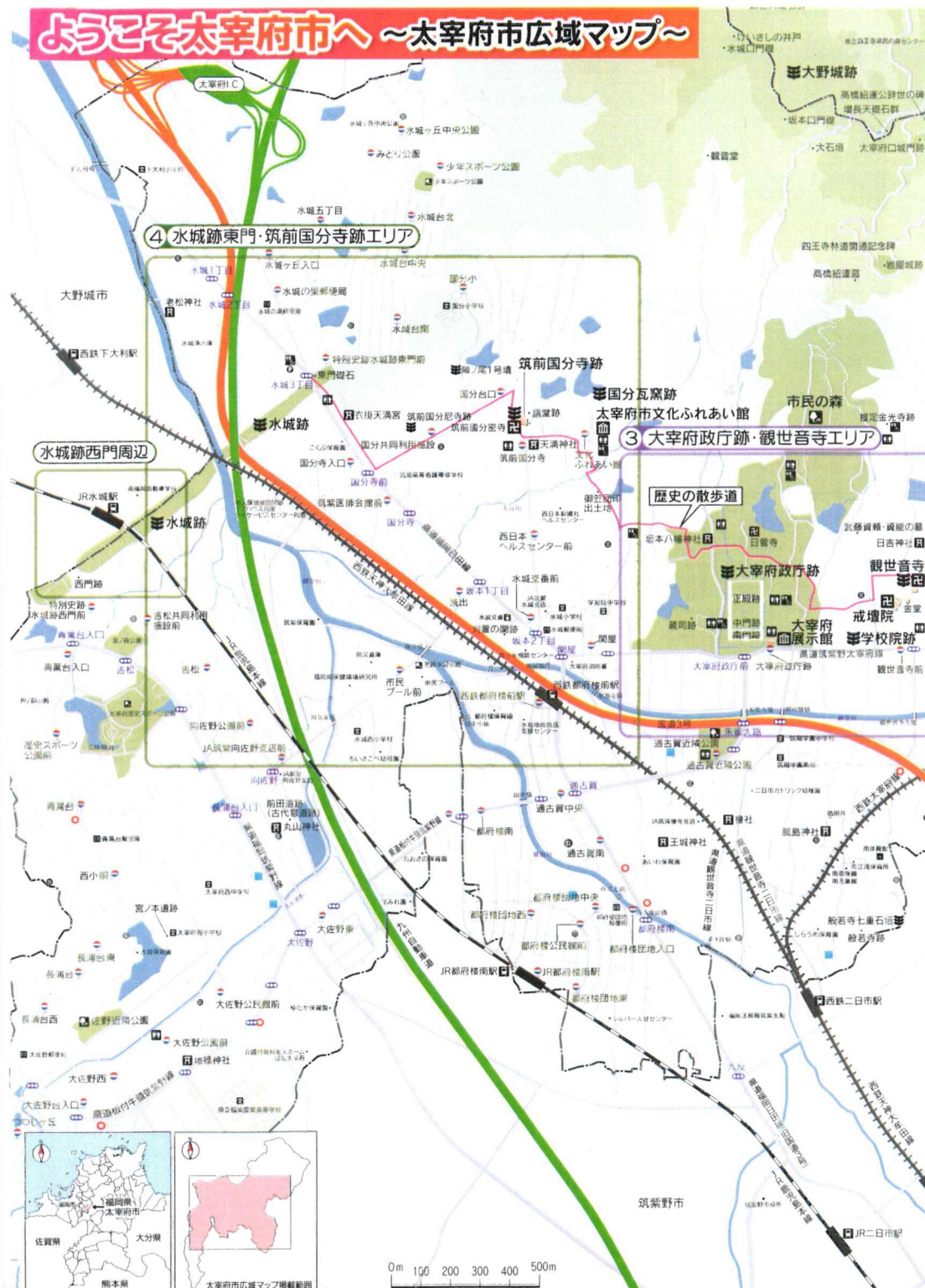
お問い合わせ・・・太宰府市観光経済課 ☎092(921)2121 FAX092(921)1601/太宰府観光協会 ☎092(925)1899 FAX092(925)1866
●太宰府市公式ホームページ <http://www.city.dazaifu.lg.jp> ●太宰府観光協会ホームページ <http://www.dazaifu.org/> 平成27年9月発行

太宰府まるごと 観光ガイドマップ

太宰府をまるごと見る。食べる。買う。憩う。学ぶ。



ようこそ太宰府市へ～太宰府市広域マップ～



1 太宰府天満宮・門前町エリア



2 龍門神社・宝満山登山口エリア

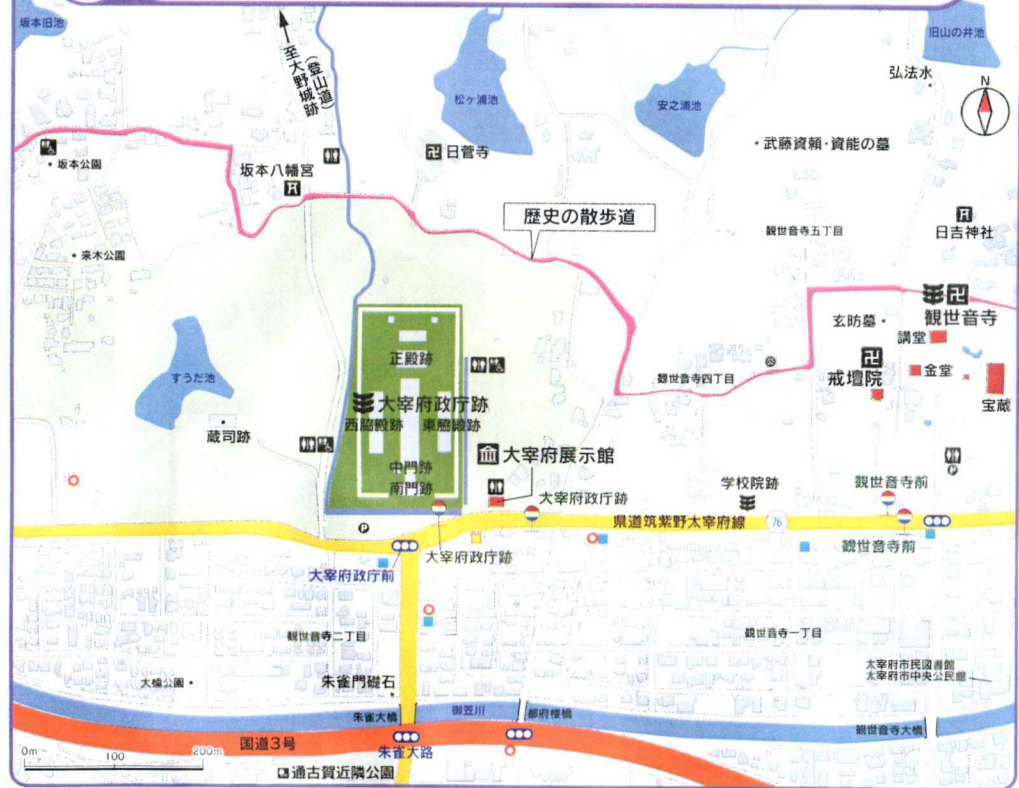


宝満山
別名を御笠山、龍門山ともいう。福岡県内で最も登山者の多い山として知られている。標高829.6m。山頂には龍門神社上宮、麓には下宮が鎮座する。また、山頂からは360度の眺望を楽しむことができる。修験道の霊峰でもある。



龍門神社
宝満山の山頂に上宮、山麓に下宮が鎮座する。かつては中宮もあった。祭神は玉依姫である。大宰府政庁の北東に位置し、鬼門を守ると思われる。現在では、縁結びの神として知られている。下宮境内では、春には桜、初夏にはシャクナゲ、そして秋には紅葉が四季折々の彩りを添える。(まほろば号)内山(龍門神社)バス停すぐ

3 大宰府政庁跡・観世音寺エリア



4 水城跡東門・筑前国分寺跡エリア



凡 例		
 トイレ	 タクシー乗り場	 公民館
 身体障がい者用トイレ	 梅ヶ枝餅店	 教育施設
 まほろば号バス停	 食事処	 郵便局
 歴史の散歩道	 喫茶・軽食	 交番
 国博通り	 居酒屋	 地区・近隣公園
 信号	 コンビニエンスストア	
 観光案内所	 神社	
 駐車場	 寺院	
 コインロッカー	 博物館・美術館	
 鉄道駅	 文化財愛護シンボルマーク	

※: 梅ヶ枝餅店、: 食事処、: 喫茶・軽食、: 居酒屋の表記は、太宰府観光協会、太宰府市商工会加盟店です。

太宰府をまるごと見る



太宰府天満宮

大宰権帥として太宰府に左遷され、この地で亡くなった菅原道真をまつ。尊厳の神として有名である。本殿はその礎の上に建立され、現在の本殿(重要文化財)は1591年の再建である。広い境内ではクス、梅、花しょうぶが四季折々の香りを漂わせる。正月にはうす替え、鬼すべ、春には曲水の宴、また秋には神幸式などの神事・祭事が執り行われる。(まほろば号「西鉄太宰府駅」バス徒歩約5分)



大宰府政行跡(特別史跡)

7世紀後半から奈良・平安時代にかけて、九州を治め、外交・軍事・経済を担った役所が置かれた所である。平面復元された建物の壁石が往時を偲ばせる。「都府政行跡」の名でも親しまれ、史跡公園となっている。春には桜が楽しめる。(まほろば号「大宰府政行跡」バス徒歩約5分)



九州国立博物館(月曜日休館)

東京・京都・奈良に次ぐ4番目の国立博物館である。「日本文化の形成をアジア史的視点から捉える」というコンセプトをもつ、3階の特別展示室、4階の文化交流展示室のほか、1階にはアジア文化の体験エリア「あじっば」がある。



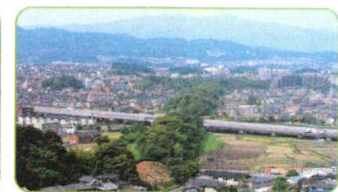
観世音寺

高明天皇追悼のため、天照天皇の発願により建立された寺院。宝蔵に安置された仏像(重要文化財)は必見である。日本最古といわれる梵鐘(国宝)も残る。境内はクスの木に包まれ、藤、アジサイ、秋が四季を彩る。(宝蔵入館料: 一般500円)(まほろば号「観世音寺前」バス徒歩約5分)



戒壇院

戒壇とは高位の僧尼が守るべき戒律を授ける所で、観世音寺に設置された。奈良東大寺・下野(栃木県)東大寺のそれとともに「天下の三戒壇」と呼ばれる。江戸時代に観世音寺より独立、現在は臨済宗寺院となっている。(まほろば号「観世音寺前」バス徒歩約5分)



水城跡(特別史跡)

664年、唐・新羅の侵襲に備えて築かれた防衛施設(人工の土壁)である。全長1.2kmに及び、博多側に幅60m、深さ4mの濠を通り、水を貯えたことからその名がある。(まほろば号「特別史跡水城跡東門前」バス徒歩約5分)



大野城跡(四王寺山)(特別史跡)

日本最古の城。7世紀後半、ここに朝鮮式山城大野城が築かれたことから、大野山、大城山とも呼ばれた。約80mに及び濠をめぐる土壁、谷を基く山頂は見る者を圧倒する。その後、8世紀後半に四王寺(四王院)が建立されたので、この名がある。以来、仏教の聖地として知られ、現在も336の仏に祀られている。



筑前国分寺跡

奈良時代、聖武天皇の命によって全国に国分寺・尼寺が建立された。筑前国分寺跡は、塔跡、講堂跡、回廊跡が平面復元されている。尼寺はその西にあったとされる。(まほろば号「筑前国分寺」バス徒歩約5分)



光明寺

太宰府天満宮の南にあり、若き名で親しまれている。前庭の山石庭、奥庭の一湯海庭という松山水の庭は一景である。春には紅葉も楽しめる。若菜(唐)天神伝説によって鎌倉時代に創建されたと伝えられている。(まほろば号「西鉄太宰府駅」バス徒歩約4分)(拝観料: 200円)

太宰府をまるごと学ぶ



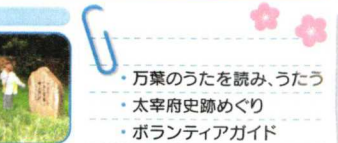
太宰府館

「太宰府観光」の情報収集や梅ヶ枝餅、太宰府の「食」を代表する梅ヶ枝餅づくりを体験できる。梅ヶ枝餅の物語や立ち上り学べる。(TEL: 092) 918-8700 ●休館日: 毎週水曜日 ●開館: 10:00~18:00 (ホール使用の場合は2時まで可)



梅ヶ枝餅焼き体験

太宰府の「食」を代表する梅ヶ枝餅づくりを体験できる。梅ヶ枝餅の物語や立ち上り学べる。



万葉歌碑めぐり

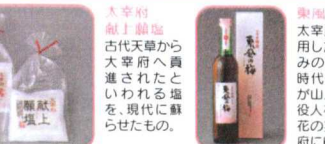
太宰府の万葉歌碑めぐり。朗読体験ができる。太宰府で詠まれた大伴旅人や山上憶良など、万葉びとの歌と心について学べる。

太宰府をまるごと食べる・買う



梅ヶ枝餅

太宰府名物の定番おみやげもち米とちりもち米で作った生地で小豆あんを包み、こんがりと焼上げたもの。



太宰府産「梅」の実

太宰府産の梅の実を使用した相取り焼酎仕込みの梅酒である。奈良時代、大宰帥大伴旅人が山上憶良など管内の役人を招いて催した「梅花の宴」など、梅は太宰府にゆかりが深い。



天神様のお使い

天神様のお使いでもあり、幸運を招く鳥と言われている鶴が木にとまり羽を広げた姿を木彫りで表している。